

食と農業農村振興審議会佐久地区部会を開催しました

農業農村支援センターでは、7月17日佐久合同庁舎で「長野県食と農業農村振興審議会佐久地区部会」を開催しました。これは地域別に策定している同振興計画の推進状況や県が実施する食と農業・農村に関する施策に関して、農業者や関係機関の代表者から意見等を聴取するために毎年実施しているもので、当日は委員10名に御出席いただきました。

今回は、昨年度の実績及び本年度の計画に加えて、昨年の台風災害の復旧状況と新型コロナウイルス感染症に係る農業者支援の取組状況を説明し、意見交換をしました。

委員からは「コロナで大変な状況だが、地元のホテル・旅館へ地元食材を供給する地消地産をさらに進めて欲しい」、「労働力確保の点で、企業側のダブルワーク許可等の体制整備が必要ではないか」といった意見や「台風やコロナを経験する中、今後の佐久地域農業の目指す姿を考えていくべきだ」、「子供たちへの食育や食文化の伝承、伝統の農産物の継承などが大切だ」との提案が出されました。

支援センターでは、これらの意見や提案を今後の活動に反映し、市町村・JA等関係機関とともに、引き続き計画に沿った取り組みを進めていきます。

